

## 函館市役所職員労働組合との交渉の概要

- 交渉日時 平成28年12月26日（月）17：30～17：50
- 交渉場所 市役所8階大会議室
- 出席者 当局側 中林副市長，各部局長 他 計約30名  
組合側 長谷川執行委員長，他 計約50名

交渉項目	平成29年度 事務事業・組織機構の見直しによる職員数の見直しについて
交渉要旨	<p>(組合)</p> <p>11月15日に提案があり，団体交渉では，提案に対する考え方などについてやり取りをさせてもらい，その後，支部の段階では議会等忙しい状況だったと思うが，真摯に対応していただく中で，それぞれ交渉を行い，さらに提案のなかった部局も意見交換をしていただいたという状況になっている。その意見交換も含め，いくつか検討事項があがってきたので，前段で少し考えを聞いた上で，回答させていただきたい。</p> <p>まず，1点目は，この間の行革でギリギリの状況であっても，見直す視点を持ちながら進めてきているということはあるが，業務の偏りや，急な業務も多くなっていることが見られることから，適正な人員配置と，それに伴って庁舎スペースも含めた職場環境の改善について検討いただきたい。</p> <p>2点目は，部局運営方針の周知と職場のあり方や体制の検討ということで，部局運営方針も1回やればよいということではなくて，定期異動で新たな職員も配置をされることもあるので，改めて周知することや，合わせて職場のあり方についても検討してもらいたい。</p> <p>3点目は，この間，再任用制度を進めてきているが，職場の確保について，定年退職者の知識経験をどう生かすのかが，今後の検討課題として必要なことだと思っているので，考え方を聞かせていただきたい。</p> <p>(当局)</p> <p>まず，職員の配置については，これまでも，複雑多様化する行政課題に対応するため，適正配置や計画的な職員採用を行ってきたほか，配置にあたっては，職員の知識・経験，異動歴等を勘案し，市民サービスの向上，組織目標の達成が効果的に図られるよう適材適所を基本として行ってきた。また，年度途中で新たな業務に対応が必要になった場合や，職員がけが，病気等で長期に休務することになった場合については，職員の応援体制，臨時職員の配置等により，できる限り業務に支障が出な</p>

いように柔軟な職員配置を進めたいと考えている。庁舎スペースについては、保健福祉行政の再編による業務の集約化、制度改正による本庁舎の職員数の増加により、特定の部署で執務スペースが狭隘化している現状にある。これまで、不要になった書類の廃棄、新たな保管場所の設置、臨時的な業務の会議室の使用など職員等の協力を得ながら、一定のスペースを確保してきた。一方で、窓口を1・2階に集約してきている状況や、庁舎自体の物理的な制約もあり、早急な対応は難しいが、中長期的な視点に立って現場の声も聞きながら、職場環境の改善に努めたい。

2点目の部局運営方針の周知と職場のあり方について、部局運営方針は業務のベースとなるものであり、また、コミュニケーションを取るための一つの要素でもある。また、周知徹底を図るよう努めているが、その活用はもとより、管理職のマネジメントを発揮させ、職員間のコミュニケーションを十分図るなどし、職場環境の向上に努めたい。

3点目の再任用制度のあり方について、再任用を希望する職員については、原則として再任用するという方針とし、その任用期間は通算で3年程度を基本として運用している。来年度は、現時点では企業局と病院局等も含め、定年退職予定者の約6割から希望申込みがあり、今後、勤務評価を行い、配置職場等を検討した上で、再任用をしていく予定である。配置職場については、職員OBの配置が必要な非常勤の業務や退職時の職場を中心に検討しているが、今後、再任用職員の更なる増加が見込まれることから、正規職員との配置のバランスなども考慮しながら配置職場が確保されるよう配慮したい。

#### (組合)

行革による職員数の削減は、ほぼ限界に近いと思っており、そういう意味では、年度途中の新たな業務や病休の対応を踏まえた中で採用も考えていただきたい。

職場スペースについても、こちらも入った中で進めていくという状況でもいいと思うし、当局の考え方も理解はさせていただきたいと思うので、よろしくお願ひしたい。

前段の課題についてのやり取りを踏まえ、合意するという事で回答させていただきたいが、付帯条件や引き続き、新年度に向けて整理をしていく課題についても、きちんと対応をお願いしたい。

今回、提案交渉から1か月ちょっとで、12月議会もあった中、非常に厳しい日程だったと思うが、真摯に対応していただいたということで、感謝申し上げたい。また、提案がなかった部局についても非常に中身の濃い意見交換をしたところもあると聞いており、ぜひ、できなかったところについても、職場の声を聞くことは非常に大事だと思うので、

	<p>この時期に限らず，月に1回でも，2か月に1回でもやっていただいた方がいいと思うので，その辺の配慮をよろしくお願いしたい。</p> <p>今回，支部での協議で少し感じたのは，ここ数年前はあまり出てなかったが，先ほどもあった人員配置，職場環境に対する要望，意見が多かった気がする。年度途中で複数の方が退職すれば，臨時職員だけでは補えず，他の職員に負担がかかるということもある。また，ずっと時間外に頼らざるを得ない職場もあり，一時的な時間外対応ではなく，恒常的になってしまったら問題だと思っているので，政府でも時間短縮の問題も議論はされているが，やはりそういった職場に何が問題があるかと，お互いにチェックしたいと思うし，どう見直すのかということも改めて検討していただいて，新年度あるいは，来年の提案に反映させるよう意見を出していくべきだと思っているので，よろしくお願いしたい。</p> <p>あと，新たな業務により，職場環境が整わない中で，その職場だけ負担が大きくなることもあるので，オーバーワークにならないよう調整を行ってほしい。</p> <p>(当局)</p> <p>まず，29年度の職員数の見直しについて提案通りの合意をいただき感謝申し上げます。ご意見については，当然，理解しているが，例えば庁舎の問題について，これは物理的に難しいところもある。新しい業務については，国とか道からのものもあり，これに対応せざるを得ない。それで，職員の削減はほぼ限界であり，増やすことも考えられる。しかし，まずは，当然現有の職員の体制の中でできるかを各部長が判断し，できないのであれば，人員の配置も含めた業務の実施について，整理する必要がある。</p>
交渉結果	提案どおり合意（交渉終了）
備考	

(総務部行政改革課 平成29年1月11日現在)